

庭づくりは本物のエクステリアショップへ

近年、エクステリアに対する認知度が上がってきております。それは、今の生活に付加価値を与えたい、暮らしを豊かにしたいという人が多くなっているからです。しかし、一方でイメージ通りの庭が手に入らなかった、家族構成の変化、多種多様なライフスタイルの中で変更部分が出てきたなどの理由からエクステリア工事をやり直した人は少なくありません。当企業では、6社のエクステリア専門店でエクステリアにおけるアドバイスを様々な角度から聞いていきたいと思っております。
第2回目は安曇野市にあるエクスリーフさんにお話しをお伺いしました。

ExLEAF (エクスリーフ)

[住 所] 安曇野市豊科4696-2
[電話番号] 0263-88-3685
☎ <http://www.exleaf.net/>

努力と感性の男、エクステリア丸山が「熱く」語る
エクスリーフ代表デザイナーの丸山章利さんは、県内大手ハウスメーカーで9年間、エクステリア設計・施工管理業務で経験を積み、2014年に独立して同社を設立。「最高の住まいには、最高のエクステリアを」をコンセプトに、若い感性を生かし、お客さまの理想以上のエクステリアを提案する丸山さんにインタビューしました。



PROFILE
丸山章利
1980年生まれ。会社員時代から、独立のために一年一資格の取得を目標に努力を重ね、現在、一般社団法人日本エクステリア設計協会正会員。2級エクステリアプランナー、2級土木施工管理技士、2級建築士、宅地建物取引主任者ほか8つの資格を取得。

「単に商品を売るだけのエクステリアでなく、お客様が本当に求めている理想のエクステリアを、お客様と心を共有することで追求していく」。専門店ならではの心配りを感じます。そして具体的なプランニングへ?

「まず、お客様の要望を徹底的にヒアリングすることで、お客様のライフスタイル、趣味傾向が見えてきます。お話しを伺いながら、どんな設計にしようか?どのような部材を使うか?頭の中に図面が出来上がっていくんです。じっくりと時間をかけて丁寧にヒアリングすることで、イメージがどんどん膨らんでいく。この時間をとても大切にしています。」

手描きの図面に「魂」を込めて、世界に一つのエクステリアを提案
「効率化を図るためにCADで設計するデザイナーの多い中、丸山さんは手描きで図面を描かれると伺いました。その理由は?」
私にとって手描きの設計図面は、お客様への気遣いと自分へのこだわりなんです。手描きで図面を仕上げるためには、テクニックだけでなく、商品の一つひとつの大きさや特性を理解し、実際のおさまりを考えながら描く必要があります。それがCADの場合にはおさまりなど考えなくても、マウス一つで図面が出来てしまいます。効率を考えればCADは必須なのか

もしれませんが、私は効率よりも細部にまで気を配り、線一本一本に「魂」を込めながら丁寧に仕上げていくことがこだわりなんです。お客様も自身も納得し満足できる温かみのある図面は、世界に一つしかないオンリーワンの作品だと自負しています。私の想いを込めた手描きの図面が、お客様の心に伝われば、それは最高の喜びです。
エクステリア業界はまだまだ未熟な世界です。エクステリアの地位向上のためにも、手描きの図面による心のこもった仕事で、より多くの皆さんに最高のエクステリアの提案を目指していきます。



◀丸山さんの優れた感性やデザイン力、技術力が評価され、施工作品「エントランスゲートとミッドリのアプローチ」が「2016年LIXILデザインコンテスト」ファザード部門で地区入選賞を受賞。全国応募総数6858件の中から入賞は320件という狭き門をくぐりぬけ、中信地区では唯一の受賞。